

館山市長 宛

施設等利用費請求書（償還払い用）

認可外保育施設・一時預かり事業・病児保育・子育て援助活動支援事業の施設等利用費

【令和 年 月～令和 年 月分請求用】

私は、子ども・子育て支援法第30条の11第1項の規定に基づき、施設等利用費の給付について、下記の通り請求しますので、指定する償還払いの振込先口座に振り込んで下さい。

なお、施設等利用費の審査にあたり、次の事項に同意します。

1. 申請者と認定子どもが、館山市内に居住していることを館山市が住民基本台帳で確認すること。
2. 実際に利用していることを館山市が対象施設に確認すること。
3. 利用料の支払い状況を館山市が対象施設に確認すること。
4. 課税状況を館山市が確認すること。

1. 施設等利用給付認定保護者(請求者)

フリガナ		認定 子ども との 続柄	現 住 所	生年月日	年	月	日
氏 名				館山市 電話：			
※償還払いの場合の振込先は申請者名義の口座です							

2. 認定子ども(認定子どもごとに申請して下さい)

法第30条の4の認定種別	☐ 第2号 ☐ 第3号	認 定 番 号	
生年月日	年 月 日	フリガナ	
施設等利用費の請求期間の住所		氏 名	
☐ 現住所のとおり ☐ 転入した ☐ 転出した			
上記で転入または転出に該当した場合は転入・転出日を記入			令和 年 月 日

3. 償還払いの振込先を記入して下さい(※1)

金融機関名		預 金 種 目	☐ 普通 ☐ 当座
銀行・信用金庫	支店	口 座 番 号	
農協・信用組合	出張所	口座名義(カタカナ)	

※1 申請者と口座名義が異なる振込先を指定する場合は、委任状を提出してください。

4. 利用した認可外保育施設・一時預かり事業・病児保育・子育て援助活動支援事業を記入（複数記入可）

①	フリガナ		所 在 地	〒 電話：	
	施 設 業 名				
	契約している利用料※2		☐ 月額	円 ☐ 日額	円 ☐ 時間額
②	フリガナ		所 在 地	〒 電話：	
	施 設 業 名				
	契約している利用料※2		☐ 月額	円 ☐ 日額	円 ☐ 時間額
③	フリガナ		所 在 地	〒 電話：	
	施 設 業 名				
	契約している利用料※2		☐ 月額	円 ☐ 日額	円 ☐ 時間額

<裏面も記入して下さい>

④	フリガナ		所在地	〒 電話：
	施設・事業名			
	契約している利用料※2	□ 月額		
⑤	フリガナ		所在地	〒 電話：
	施設・事業名			
	契約している利用料※2	□ 月額		
⑥	フリガナ		所在地	〒 電話：
	施設・事業名			
	契約している利用料※2	□ 月額		

※①～⑥に書き切れない数の施設・事業を利用した場合は、余白等に記載して下さい。

※2 該当箇所にレを記入し金額を記入して下さい。利用料の設定が月単位を超える(四半期・前期・後期等)場合は、当該利用料を当該期間の月数で除して、当該利用料の月額相当分を算定し、月額欄の□にレを記入し、算定した月額相当分を記入して下さい。

5. 認可外保育施設・一時預かり事業・病児保育・子育て援助活動支援事業の施設等利用費の償還払い請求の内訳を記入

利用年月日	認可外保育施設に支払った月額利用料(保育料) (a) ※3 ※4	一時預かり事業・病児保育・子育て援助活動支援事業に支払った月額合計利用料 (b) ※3	支払額合計 (c=a+b)	月額上限額 (d)	請求額 (cとdを比較して小さい方)
令和 年 月	円	円	円	円	円
令和 年 月	円	円	円	円	円
令和 年 月	円	円	円	円	円

※3 上記で記入した利用料の合計額を支払ったことを証明する書類(施設からの領収証等)と特定子ども・子育て支援提供証明書をすべて添付して下さい。
また、子育て援助活動支援事業を利用した場合は、援助を行う会員が発行した活動報告書も添付して下さい。

※4 利用料の設定が月単位を超える(四半期・前期・後期など)場合は、当該利用料を当該期間の月数で除して、利用料の月額相当分を算定して下さい。(小数点以下、切り捨て)

※5 月額上限額は、施設等利用給付第2号認定の場合は月額37,000円、第3号認定の場合は42,000円です。
途中で認定期間が終了する又は開始される場合か、市町村間の転出入の場合、月額限度額は次の通りとなります。
・途中で認定期間が終了する場合、
または別の市町村へ転出する場合の限度額：37,000(42,000)円×転出日までの日数÷その月の日数
・途中で認定期間が開始される場合、
または別の市町村から転入した場合の限度額：37,000(42,000)円×転入先での認定日からの日数÷その月の日数

館山市からの償還払いは、基本的に年4回(3か月毎)です。

4・5・6月分 → 7月末日まで 7・8・9月分 → 10月末日まで
10・11・12月分 → 1月末日まで 1・2・3月分 → 4月15日まで

※申請から振込するまで1か月程度かかりますのでご了承ください。
期限を過ぎても申請できますが、利用月から2年を経過すると申請できなくなります。



館

記入例

請求日 令和 7 年 7 月 15 日

施設等利用費請求書（償還払い用）

認可外保育施設・一時預かり事業・病児保育・子育て援助活動支援事業の施設等利用費

【令和 7 年 4 月～令和 7 年 6 月分請求用】

私は、子ども・子育て支援法第 30 条の 11 第 1 項の規定に基づき、
の通り請求しますので、指定する償還払いの振込先口座に振り込んで下
なお、施設等利用費の審査にあたり、次の事項に同意します。

請求する月を記入すること。
3 か月毎です。

1. 申請者と認定子どもが、館山市内に居住していることを館山市が住民基本台帳で
確認すること。
2. 実際に利用していることを館山市が対象施設に確認すること。
3. 利用料の支払い状況を館山市が対象施設に確認すること。
4. 課税状況を館山市が確認すること。

1. 施設等利用給付認定保護者(請求者)

フリガナ	タヤマ タロウ	認定 子ども との 続柄	父	現 住 所	生年月日	平成 3 年 5 月 5 日
氏 名	館山 太郎				館山市北条1145-1	
※償還払いの場合の振込先は申請者名義の口座です					電話： 0470-22-3496	

2. 認定子ども(認定子どもごとに申請して下さい)

法第30条の4の認定種別	☒ 第2号 ☐ 第3号	認 定 番 号	〇〇〇〇〇〇
生年月日	令和 4 年 4 月 1 日	フリガナ	タヤマ イチロウ
施設等利用費の請求期間の住所		氏 名	館山 一郎
☒ 現住所のとおり ☐ 転入した ☐ 転出した			
上記で転入または転出に該当した場合は転入・転出日を記入			

請求者と違う場合は、委任状が必要になります。

3. 償還払いの振込先を記入して下さい(※1)

金融機関名	預 金 種 目	☒ 普通 ☐ 当
〇〇 銀行 信用金庫 〇〇 支店	口 座 番 号	1 2 3 4 5 6 7
農協・信用組合	口座名義(カタカナ)	タヤマ タロウ
出張所		

※1 申請者と口座名義が異なる振込先を指定する場合は、委任状を提出してください。

4. 利用した認可外保育施設・一時預かり事業・病児保育・子育て援助活動支援事業を記入（複数記入可）

①	フリガナ	〇〇タジシヨ	所 在 地	〒 〇〇〇-〇〇〇〇 南房総市 電話： 〇〇〇〇-〇〇〇〇
	施設・名	〇〇託児所		
	契約している利用料※2	☒ 月額 15,000 円 ☐ 日額 円 ☐ 時間額 円		
②	フリガナ	〇〇ビョウジシツ	所 在 地	〒 〇〇〇-〇〇〇〇 館山市 電話： 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇
	施設・名	〇〇病児施設		
	契約している利用料※2	☐ 月額 円 ☒ 日額 2,000 円 ☐ 時間額 円		
③	フリガナ	△△ビョウジシツ	所 在 地	〒 〇〇〇-〇〇〇〇 南房総市 電話： 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇
	施設・名	△△病児施設		
	契約している利用料※2	☐ 月額 円 ☒ 日額 3,000 円 ☐ 時間額 円		

請求期間に利用したすべての施設を記入すること。

<裏面も記入して下さい>

④	フリガナ		所在地	〒 電話：
	施設・事業名			
	契約している利用料※2	□ 月額		
⑤	フリガナ		所在地	〒 電話：
	施設・事業名			
	契約している利用料※2	□ 月額		
⑥	フリガナ		所在地	〒 電話：
	施設・事業名			
	契約している利用料※2	□ 月額		

※①～⑥に書き切れない数の施設・事業を利用した場合は、余白等に記載して下さい。

※2 該当箇所にレを記入し金額を記入して下さい。利用料の設定が月単位を超える(四半期・前期・後期等)場合は、当該利用料を当該期間の月数で除して、当該利用料の月額相当分を算定し、月額欄の□にレを記入し、算定した月額相当分を記入して下さい。

5. 認可外保育施設・一時預かり事業・病児保育・子育て援助活動支援事業の施設等利用費の償還払い請求の内訳を記入

利用年月日	認可外保育施設に支払った月額利用料(保育料) (a) ※3 ※4	一時預かり事業・病児保育・子育て援助活動支援事業に支払った月額合計利用料 (b) ※3	支払額合計 (c=a+b)	月額上限額 (d)	請求額 (cとdを比較して小さい方)
令和7年4月	15,000 円	円	15,000 円	37,000 円	15,000 円
令和7年5月	15,000 円	2,000 円	17,000 円	37,000 円	17,000 円
令和7年6月	15,000 円	25,200 円	40,200 円	37,000 円	37,000 円

※3 上記で記入した証明書をすべて提出すること。
 ※4 利用料の設定が月単位を超える(四半期・前期・後期など)場合は、当該利用料を当該期間の月数で除して、利用料の月額相当分を算定して下さい。(小数点以下、切り捨て)

※5 月額上限額は、施設等利用給付第2号認定の場合は月額37,000円、第3号認定の場合は42,000円です。
 途中で認定期間が終了する又は開始される場合、市町村間の転出入の場合、月額限度額は次の通りとなります。

- ・途中で認定期間が終了する場合、
 または別の市町村へ転出する場合の限度額：37,000(42,000)円×転出日までの日数÷その月の日数
- ・途中で認定期間が開始される場合、
 または別の市町村から転入した場合の限度額：37,000(42,000)円×転入先での認定日からの日数÷その月の日数

館山市からの償還払いは、基本的に年4回(3か月毎)です。

4・5・6月分 → 7月末日まで 7・8・9月分 → 10月末日まで
 10・11・12月分 → 1月末日まで 1・2・3月分 → 4月15日まで

※申請から振込するまで1か月程度かかりますのでご了承ください。
 期限を過ぎても申請できますが、利用月から2年を経過すると申請できなくなります。